



米工 MAKERS

米工通信 第108号
令和4年3月16日
鳥取県立米子工業高等学校
生徒部 三村 雅人

校則の見直しが行われました！

来年度、入学する新1年生は「GIGAスクール構想」に伴い、一人一台パソコンを活用した授業が展開されます。その為、今の本校の校則を改定する必要があり、生徒会長の上田くん（M2）、副会長の片岡くん（M2）、杉原（M2）くんを中心とした校則検討会が行われました。

①2月初旬に生徒指導部長である田中先生（理科）より、現行のルールについて、そして校則の必要性についてのお話を伺いました。



②その後、1,2年生を対象とした学校の校則について「Google Forms」を活用したアンケートを実施しました。



③全校生徒に回答してもらったアンケート結果を集計し、「意見要望書」を作成しました。



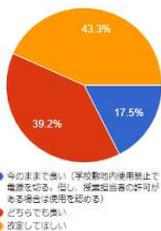
④2月中旬に生徒指導部の田中先生に全校生徒の考えをまとめた「意見要望書」を提出しました。



■生徒の声

① 校内ICT 端末（携帯・スマートフォン・クロームブック）の使用について

ICT 端末の使用ルールについて「今のままで良い」が 17.5%に対し、「改定して欲しい」という意見が 43%あり、「今のままで良い」の約 2.5 倍ありました。「改定して欲しい」を選んだ人を対象に、具体的などのようなルールが良いかを調査したところ、「学校敷地内は使用禁止で原則電源を切る。但し、学校から出された課題や授業に関係がある調べ学習の場合に限り、昼休憩・放課後の使用を認める。」の現行に類似した選択肢が、全体の5割以上で一番投票数が多い結果となりました。その理由として「ICT 端末（Classroom や Google Forms など）を活用した授業で出題されている課題や回答を見たいが、校内で端末が使用禁止のため利用ができない」、「課題を昼休憩などの空き時間に終わらせたいができない」、「授業でわからなかったことを調べられない」等がありました。



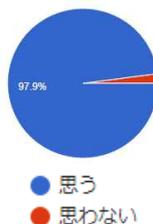
② 頭髪について

頭髪については「どちらでも良い」という回答が 54.6%でした。次に「改定して欲しい」という意見があり、具体的に「ツーブロック許可」や「毎回基準が違い、引っかかる時と引っかからない時がある」という基準が不明確という意見がありました。



③ 校則は必要だと思いますか？

全校生徒の約 98%が「校則は必要だと思う」と回答しました。その理由として、「社会に出るともっと厳しいルールがある。学生のうちにある程度のマナーは身に付けておきたい。法律があるように学校のルールは守りたい。生徒や先生が安全かつ安心して学校生活を送るため。」など自分自身を守るために最低限のルールは必要との考えや、将来を意識した回答が多くみられました。



■まとめ

生徒の声をまとめた意見要望書は、その後生徒指導部と連携した意見を職員会議で議題にあげ、様々な条件を入れながら可決されました。具体的にはICT端末に関しては「原則使用不可」でしたが、「一部の条件を含めた校内での使用が許可」されるようになります。また、ツーブロック等を含めた頭髪に関しては「極端な段差のある髪型については、慎まなければならない。学習活動や安全衛生活動の妨げとならない長さになるように、適切な措置を講じること。」というように明記される予定です。

今まで学校の校則は教員側が決めてきましたが、今回は生徒会長や副生徒会長を筆頭に全校生徒で意見を出し合い、米工がより良い学校になるためにはどうすれば良いかを様々な角度から全校生徒と考えることができました。そしてその考えを教員が受け取り、校則を改定することができました。

教員が校則で制限をかけることは簡単ですが、生徒にとってそれが良い学びに繋がるのかと考えた時に、自ら考えて動く判断力や行動力が身に付かない可能性があるという答えに辿り着きました。生徒たちは高校を卒業すると社会に出ていきます。そこでは自分の考えや行動に責任を持って生きて行かなければなりません。スマホ1つにしても正しく使えばとても便利ですが、使い方を間違えれば人を傷付けてしまう道具になる可能性があります。その時に「何が正しくて、何が間違いであるのか」その判断ができるように、今後は厳しく自分を律し、正しく使うための情報モラルや、工業高校生としてのエチケット・マナーを学校の授業や友達とのコミュニティの中で養い、人間力を向上させて欲しいと思います。今回の経験から「声をあげることの大切さ、皆で議論し合うことで見えてくる答え」を考える良い機会になったのでは無いかと思います。今後も生徒と教員が共に連携を図りながら、より良い学校づくりを目指していきたいです。